

パブリック・コメントの実施結果について

番号	御意見の概要	選挙管理委員会の考え方	計画修正の有無
1	期日前投票の充実等により、もっと大胆な見直しをすべきと考える。 河北総合支所管内について、大谷地地区は吉野から新田へ行くなど他行政区の集会所に行く習慣がなく抵抗感があると思われるので、駐車場を広くとれる大谷地小学校が良いと考える。 よって、大谷地地区は、飯野地区全域と五十五人、鶴家、沢田、後谷地、川の上の小船越地区の一部等が大谷地小学校へ、二俣地区は大土から東福田に行く習慣はないことから、全域が二俣小学校で良いと考える。 大川地区は原案通りで良いと考える。 あくまで河北総合支所管内の案を述べたが、場合によっては、国政選挙と地方選挙の同日執行もあることから、駐車場が十分にとれる広い場所、段差等が少なく投票者に不安のない場所に投票所を設けるべきと思う。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘いただきました河北総合支所管内の投票区につきましては、今回の再編が完成形ではなく、今後も将来的な選挙制度の変化や人口分布等の状況を見ながら、河北地区に限らず市内全域を対象とし、適宜見直しを図って参りたいと考えておりますので、次期再編を検討する上での参考意見とさせていただきます。	無
2	当日投票所を105か所から79か所とする26か所削減する案には反対する。 期日前投票で4割近くが投票しているから、今後もその傾向が高まるから、その支援を充実させる方向ということだが、本来は選挙期間に各候補者の主張や政策をよく知ってから投票行動するのが本来の姿だし、投票日当日の投票機会の保障も参政権行使の観点から、おろそかにはできないと思う。 今後より一層の高齢化が進み投票所が削減されれば有権者の負担が増えて参政権を事実上行使できないことも考えられる。 また、支援基準が原則4.0km以上となっているが、作成目的が別な宮城県の津波対策ガイドラインでは、徒歩での避難の限界距離は最長でも500m程度を目安とするとなっている。 高齢者、障害者、交通手段を持たない有権者に寄り添った立場で投票所までの距離を見直していただきたいと思う。 次に、特定地区の当日投票所の閉鎖時刻の繰り上げを実施しているが、格差をなくすために繰上げを見直してほしい。 最後に、高齢者や障害者などの交通手段を持たない方、外出が困難な有権者に対して投票機会を保障するため、選挙管理委員会が投票箱を持って車両により施設や自宅を巡回し投票できるようにしてほしい。	ご意見ありがとうございます。 今回の投票区再編により投票所を削減する案につきましては、現在の社会情勢に則した投票環境の整備、効果的な人員配置による各投票所においての支援の充実や拡大を図るものであります。 投票日当日の投票機会の保障を懸念する御意見につきましては、確かに投票所までの距離や交通の利便性等の影響が懸念されますが、投票は市民一人ひとりの意思表示の機会でもあり、その重要性を御理解いただくとともに、本委員会としても投票しやすい環境づくりに取り組んでいきたいと考えております。 支援基準については、石巻市立小・中学校学区再編計画及び石巻市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針に基づく小学校スクールバスの支援基準を採用し4.0km以上としております。 今後の課題として掲載しておりますが、当日投票所がオンラインでつながる共通投票所の設置や高齢者や障害者などの交通手段を持たない方々のため、投票箱を載せた車両が要望に応じて自宅等を訪問し車両内で投票できる登録制オンデマンド式期日前投票車両の運行などを積極的に研究して参ります。 なお、当日投票所の閉鎖時刻の一斉繰り上げについては、今回の再編が今後の選挙の投票行動にどのような影響を与えるかを注視しながら、実施の可否及び時期を判断して参りますので、御理解いただきたく存じます。	無